

子どもを健やかに育むために

子育てをしていると、子どもが言うことを聞いてくれなくて、イライラすることもあります。つい、叩いたり怒鳴ったりしたくなることもありますよね

こんなことをしていませんか？

- 言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬を叩いた
- 大切なものにいたずらをしたので、長時間正座をさせた
- 友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴った
- 他人のものを取ったので、お尻を叩いた
- 宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった
- 掃除をしないので、雑巾を顔に押しつけた

これらはすべて体罰になります。

一見、体罰や暴言には効果があるように見えますが、恐怖により子どもコントロールしているだけで、なぜ叱られたのか子どもが理解できていないこともあります。

2019年6月に成立した児童福祉法等の改正法において、体罰が許されないものであることが法定化され、2020年4月1日から施行されることになりました。

全ての子どもは、健やかに成長・発達することが権利として保障されており、体罰は子どもの権利を侵害します。

子どもが健やかに成長・発達するためには、体罰に対する意識を一人ひとりが変えていかなくてはなりません。

体罰や暴言による「愛の鞭^{むち}」を捨て、子どもの気持ちに寄り添いながら、みんなで前向きに育んでいきましょう。

